

大和で聞き書きをしてみませんか？

大和で生きた人々への聞き書きプロジェクト

「歴史工房やまと」主催 第3回「聞き書き講座」

やまとの近代史—幕末から戦後まで—

講師：工藤悠大（つる舞の里歴史資料館 学芸員）

日時 2024年2月24日（土）14時～16時

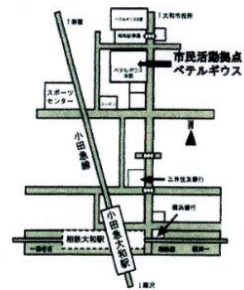
場所 大和市民活動センター「ペテルギウス」1階会議室

参加費・資料代 500円（事前申し込み不要）

問い合わせ：rekishikoboyamato@gmail.com

今回は、大和市つる舞の里歴史資料館の学芸員、工藤悠大さんをお願いして、「やまとの近代史—幕末から戦後まで—」について講義をしていただきます。当時鶴見村と渋谷村に分かれていた大和市においても自由民権運動がかかわった様々な事件がありました。その後、大正デモクラシーや関東大震災、その後の不況の影響も受け、多様な人々の動きがあり、戦時中には県央地域の町村を巻き込んだ「軍都」計画もありました。私たちが教育を受ける過程で学んできた日本の近代史の大きな流れの中で、大和の人々はどのような体験や経験をしながら街の発展を支えてきたのでしょうか。私たちの今立っている場所で過去に生きた人々、また近い過去を知っている人々に思いを馳せ、過去と現在を結んでいく「聞き書き」の可能性を考えていきましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

* 予定していた「依頼状の書き方」については、文面で報告いたします。
* 講義終了後、会の運営についてご意見をお伺いできるとありがたいです。時間が伸びないようにいたしますので、ご意見をお願いいたします。



「歴史工房やまと (History Workshop in Yamato)」は市民による歴史研究ワークショップです。主として聞き書きの手法により、大和の近現代史を学ぶために立ち上げました。学んだ歴史事象や聞き書き資料の考察は、同人誌を編纂して発表していく予定です。「歴史工房やまと」に参加ご希望の方はぜひご連絡ください（上記メアドまで）。月1回程度集まることを予定しています。